

法政大学出版局●新刊のご案内

2025 年 6 月 6 日

通巻 **361** 号

- ① 配本希望部数をご記入のうえFAXにてご連絡をお願いいたします。
希望部数を優先して配本しておりますので、ぜひお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸甚です。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

新刊委託

部数

法政大学出版局 2025年7月10日配本 定価2970円(本体2700円+税)

四六判上製・予264頁

浜本隆志 著

残照 開高健 詩人・牧羊子と作家の昭和

ISBN978-4-588-46027-2 C0095

★★ 戦後高度成長期の文学を牽引し、ベトナム戦争従軍記で新境地を開拓、釣り紀行ルポや美食エッセイでも読者を魅了した開高健(1930~89)。しかしその執筆活動の背景には、妻・牧羊子との容易ならざる家庭生活、闇三部作や『珠玉』に象徴されるニヒリズム、女性たちとの秘密の関係があった。谷沢永一と同僚であった著者が、その〈悪妻〉説に異を唱えつつ、亡き人々への鎮魂の思いを込めて記す開高文学讃。

【評伝】

☆関連書:小玉武『評伝 開高健』(ちくま文庫)、谷沢永一『開高 健 思考する人』(ロングセラーズ)。

新刊委託

部数

法政大学出版局 2025年7月25日配本 定価4400円(本体4000円+税)

四六判上製・412頁

アントニオ・マチャード 著／杉山 武 訳

《叢書・ユニベルシタス 1186》

ファン・デ・マイレーナ

ISBN978-4-588-01186-3 C1398

★ スペイン近代文学を代表する詩人で、ウナムーノらとともに〈98年世代〉の一人とされるマチャード(1875-1939)。故国スペインを深く思い、同時代の国民の啓蒙に奮闘する詩人は、その分身たる修辞学・詩学教師ファン・デ・マイレーナによるアフォリズム的な偽作手記の形で独自の表現を得た。1936年刊の理論的代表作と、『全詩集』中の関連部分を初めて日本語訳。生誕150年記念出版!

【スペイン文学】

☆関連書:マリアーノ・ホセ・デ・ラーラ『ラーラ』、オルテガ『ライプニッツ哲学序説』(小局刊)。

新刊委託

部数

法政大学出版局 2025年7月25日配本 定価4950円(本体4500円+税)

四六判上製・420頁

ケース・ファン・デン・ボス 著／熊谷智博、大淵憲一 訳

《サビエンティア 77》

人はなぜ過激化するのか 過激な信念・急進的行動・テロリズムと不正判断

ISBN978-4-588-60377-8 C3330

★ 不公正な処遇や不衡平な利益分配、不正義・不道德・不法行為は社会不安を醸成し、変化を求める人びとをテロリズムや暴力的アクティビズムへと駆り立てていく。イデオロギー、宗教、文化、情報メディア、個人的／集团的状況といった複合的動因をふまえて、過激化する人びとの認知・行動パターンを分析し、過激化の予防および脱過激化の方途を探る実証的社会心理学研究。

【テロリズム研究・社会心理】

☆関連書:S. ミルグラム『服従の心理』(河出文庫)、C. R. ブラウニング『増補 普通の人びと』(ちくま学芸文庫)など。

注文扱い

部数

○委託配本はございません。注文返条付きの出荷とさせていただきます。

法政大学出版局 2025年7月下旬出来 定価16500円(本体15000円+税)

A5判上製・貼箱装・1294頁

レオン・ロッシュ著／矢田部厚彦 訳 杉田英明 編集/校訂

回想のイスラーム 1832-1845

ISBN978-4-588-49523-6 C1023

幕末史に名を残すフランスの外交官ロッシュ(1809-1900)は、駐日公使着任以前、北アフリカのイスラーム世界を遍歴し、波瀾万丈の活動に従事していた。アルジェリア植民地の征服過程で、アラビア語に堪能な通訳として自身ムスリムを装い、対仏戦争の英雄アブデルカーデルの信頼を得たのちにやがて袂を分かった激動の年月を回想した自伝。批判的校訂を経た驚異の日本語全訳、詳細な解題・資料付。

【近代史・自伝】

☆関連書:矢田部厚彦『敗北の外交官ロッシュ——イスラーム世界と幕末江戸をめぐる夢』(白水社)とともに。

新装再委託

部数

法政大学出版局 2025年7月24日配本 定価5940円(本体5400円+税)

四六判上製・464頁

ヘルベルト・シュネーデルバッハ 著／舟山俊明、朴 順南、内藤 貴、渡邊福太郎 訳

《叢書・ユニベルシタス 913》

ドイツ哲学史 1831-1933 〈新装版〉

ISBN978-4-588-14090-7 C1310

ドイツ哲学衰退期の歴史にあえてターゲットを絞り、ヘーゲルとハイデガーの間の哲学的空白という広く共有された信念、その結果として新カント学派に下された認識論への還元主義という一面的な評価、生の哲学がおよぼした絶大な影響力の忘却など、現代のかたよった哲学的認識に再考をうながす。「問題史」的構成によって近現代ドイツ哲学へのパースペクティブを与えてくれる必読の基本文献。

【哲学・思想】

☆関連書:茅野大樹『ベンヤミンとモナドロジー』、『ディルタイ全集』(全11巻・別巻1/完結)(小局刊)。

ご担当者様 氏名: [] 担当ジャンル: [] TEL: []

【お願い】

配本の際、ご担当者様の記名が必要となりました。

ご面倒とは存じますが、ご担当者様欄のご記入をお願い申し上げます。

法政大学出版局

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3

Tel. 03-5214-5540 E-mail: sales@h-up.com URL: https://www.h-up.com/

Fax. 03-5214-5542